

2020年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2019年8月1日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2019年8月1日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2020年3月期第1四半期の決算及び事業の概況
- II .2020年3月期第1四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2020年3月期第1四半期の決算及び事業の概況





2020年3月期第1四半期 連結決算ハイライト

2020年3月期第1四半期(2019/4-6) 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、外国為替相場低迷の影響もあり前四半期末比3,565口座増加と増加ペースは鈍化。預り証拠金は一般、金融法人とも堅調に増加し、全体では3.0%の増加に。

総口座数	333,795口座	2019/3期4Q末比	1.1%増
預り証拠金	64,426百万円	2019/3期4Q末比	3.0%増

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率が前四半期から更に低下し大きく減少。

4-6月取引高	2,243億通貨単位	2019/1-3月比	21.6%減
---------	------------	------------	--------

※取引高にはCFDに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、受入手数料やその他売上高は増加したものの、主力のトレーディング損益が大きく減少したことにより、前四半期比14.0%減少の1,305百万円に。

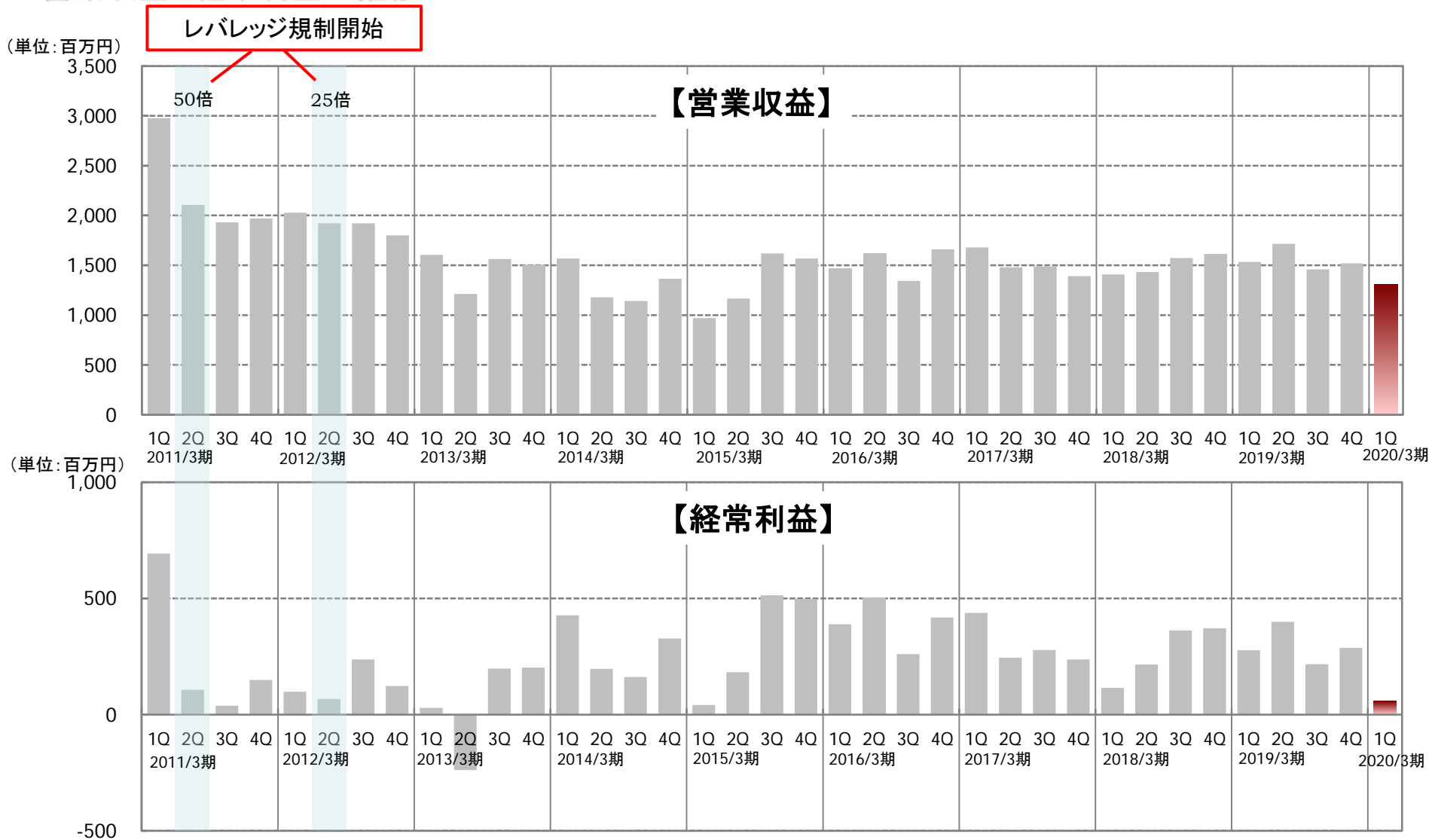
- ④ 経常利益は、外国為替取引高減少に伴う変動費の減少等により費用全体は減少したものの、営業収益減少により前四半期比79.1%減少の60百万円に。
親会社株主に帰属する四半期純利益も前四半期比82.6%減少の38百万円に。



レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

■ 営業収益と経常利益の推移





2020年3月期第1四半期 決算概況と影響ファクター

	2019/3期 4Q 【2019/1 ~ 2019/3】	2020/3期 1Q 【2019/4 ~ 2019/6】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,860億通貨単位	2,243億通貨単位	▲21.6%
営業収益	1,519百万円	1,305百万円	▲14.0%
純営業収益	1,397百万円	1,178百万円	▲15.6%
経常利益	287百万円	60百万円	▲79.1%

【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高



FX収益性

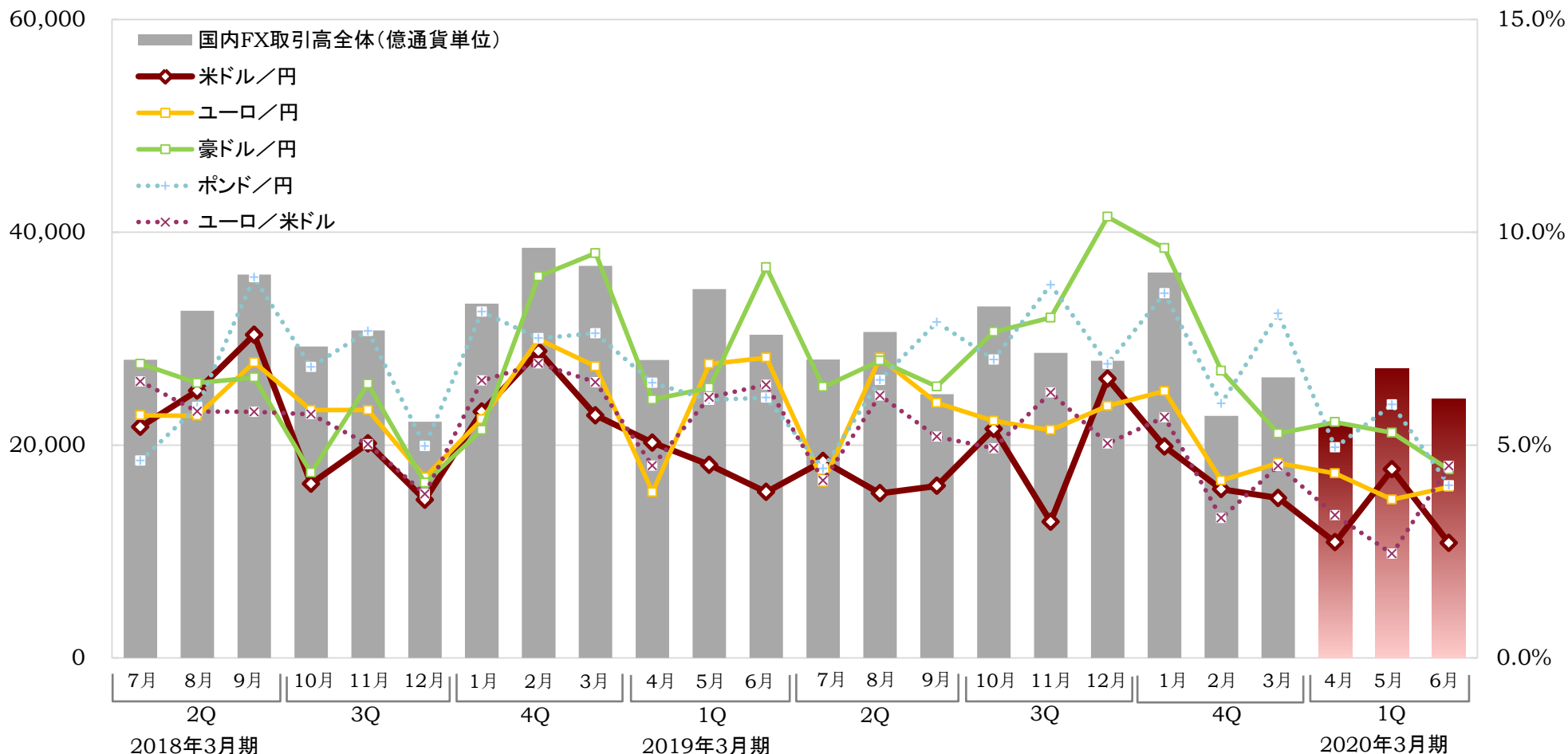


販管費



- 外国為替相場の変動率は米ドル／円をはじめ大きく低下。取引高は米ドル／円、ユーロ／円、ユーロ／米ドル等主要通貨を中心に減少し、全体として前四半期比21.6%減少。通貨別の内訳は、米ドル／円は54%と横這いとなったものの、ユーロ関連通貨ペア等割合が低下。
- 相対的に収益性の高い通貨ペアの割合が僅かながら増加したことに加え、各通貨ペアの収益性も向上したこと等から、全体としての収益性は前四半期比向上。
- 取引高増加に伴う変動費の減少等により、販管費全体は前四半期比1.1%減少とほぼ横這いに。

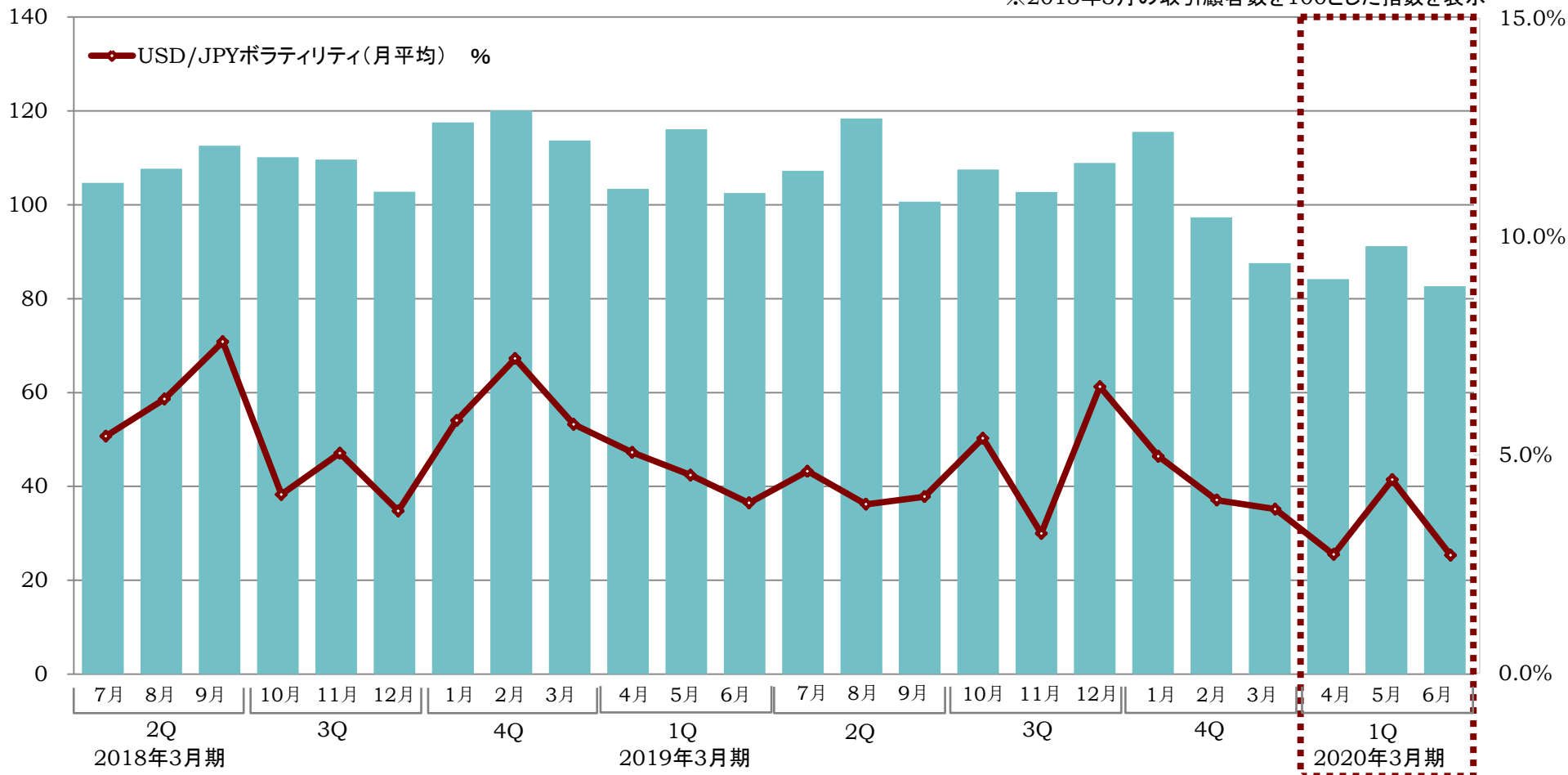
取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



外国為替市場の変動率は、米中貿易問題、英国のEU離脱、後半は米国金利の引き下げ等テーマに絡じて円買トレンドの中で神経質な相場展開となり、前四半期から更に低下。この結果、四半期ベースの国内FX取引高は前四半期比約14%減少。

■ 当社FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客数を100とした指数を表示



外国為替相場の変動率の低下と円高トレンドによる外貨買ポジションに不利な値動きが相俟って取引参加者も低迷。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2018/3期			2019/3期				2020/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	1,433	1,573	1,615	1,534	1,716	1,460	1,519	1,305	▲14.0%
受入手数料	21	25	28	24	24	23	21	25	17.0%
トレーディング損益	1,362	1,509	1,529	1,403	1,500	1,327	1,389	1,161	▲16.5%
金融収益	18	16	14	18	18	23	21	24	15.7%
その他の売上高	30	22	41	88	172	86	86	94	9.5%
金融費用	44	45	46	45	45	46	48	50	5.4%
売上原価	14	12	25	73	152	72	73	76	3.1%
純営業収益	1,374	1,515	1,543	1,416	1,518	1,341	1,397	1,178	▲15.6%
販売費・一般管理費	1,169	1,155	1,169	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	▲1.1%
営業利益	204	360	373	274	397	217	281	75	▲73.1%
経常利益	215	362	371	277	399	217	287	60	▲79.1%
税金等調整前四半期純利益	215	362	371	277	349	217	306	60	▲80.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	143	247	254	188	223	141	219	38	▲82.6%
営業収益経常利益率	15.0%	23.1%	23.0%	18.1%	23.3%	14.9%	18.9%	4.6%	

営業収益は、同じく外国為替相場の変動率が著しく低迷した2015/3期2Q以来の低水準に。販売費・一般管理費は微減にとどまったことから、営業損益、経常損益、純利益はかろうじて黒字の水準に。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2017/3期			2018/3期			2019/3期	前四半期 対比増減	
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)
取引関係費	401	387	410	368	344	390	362	349	▲3.5%
人件費	236	246	244	238	242	231	238	227	▲4.6%
不動産関係費	164	155	157	162	165	164	172	166	▲3.4%
事務費	237	227	227	238	238	217	212	227	7.1%
減価償却費	93	101	88	86	91	87	87	86	▲0.6%
租税公課	23	28	27	22	26	21	29	20	▲32.1%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	0	▲0	▲0	0	—	—
その他	12	8	13	24	12	10	11	23	109.6%
販売費・一般管理費合計	1,169	1,155	1,169	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	▲1.1%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	153	141	134	126	114	160	148	142	▲4.0%
システム関連費用(※2)	339	327	328	335	343	320	317	317	▲0.1%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

取引関係費(減少) : 取引高減少に伴うカバー取引関連の支払手数料料減少、広告宣伝費の抑制

事務費(増加) : 証券代行費用(季節性)

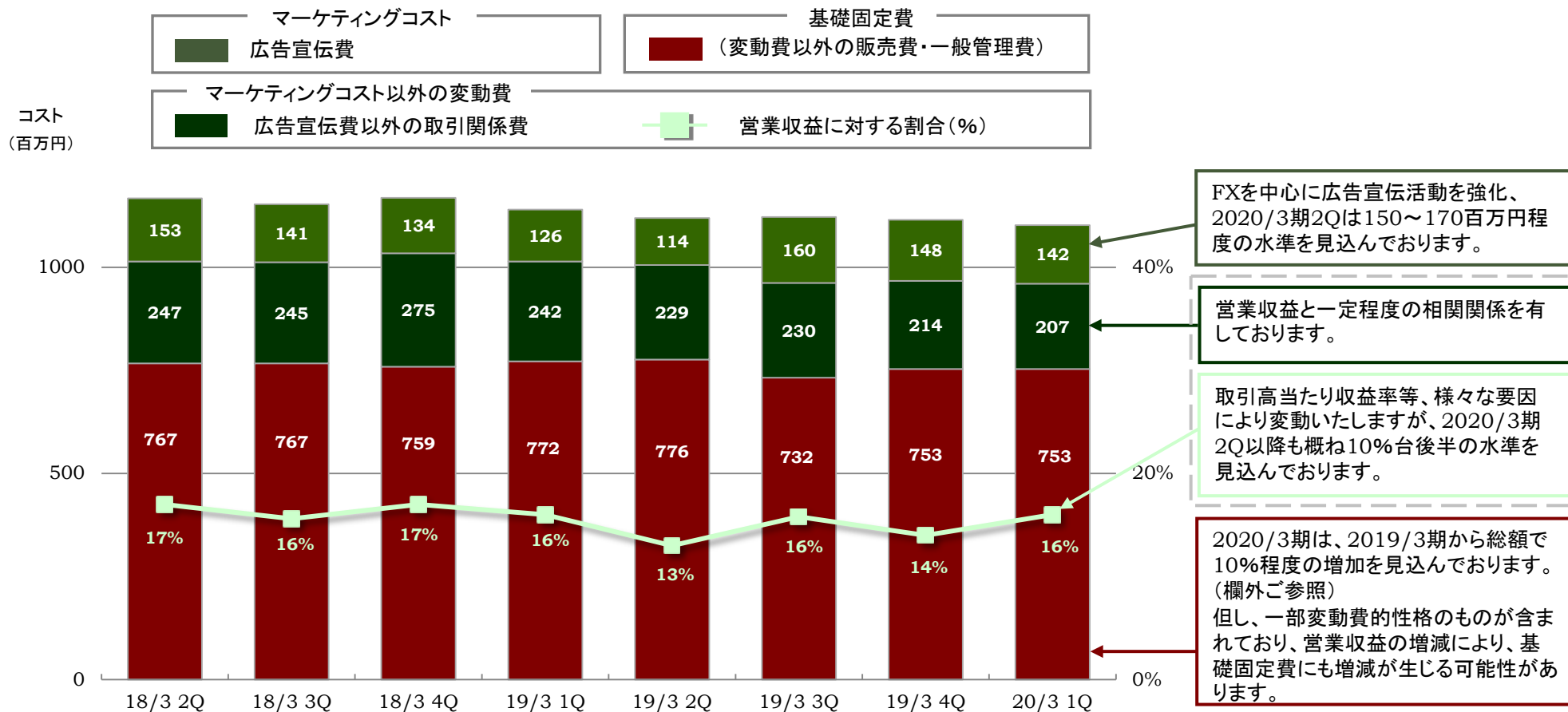
その他(増加) : 定時株主総会開催関連費用(季節性)



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



FXを中心に広告宣伝活動を強化、2020/3期2Qは150~170百万円程度の水準を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、2020/3期2Q以降も概ね10%台後半の水準を見込んでおります。

2020/3期は、2019/3期から総額で10%程度の増加を見込んでおります。(欄外ご参照)
但し、一部変動費的性格のものが含まれており、営業収益の増減により、基礎固定費にも増減が生じる可能性があります。

2019年7月にコインエージ株式会社を子会社化したことに伴い、2020/3期2Qは基礎固定費が10%程度増加し、その後、2020年4月(予定)の開業に向けての準備が進捗するにつれ、逡増することを見込んでおります。次期基幹システムについては、当初計画から遅延が生じ稼働開始は2019年秋を見込んでおります。このため、2020/3期3Qはシステム移行に伴う固定費の一時的増加が見込まれます。



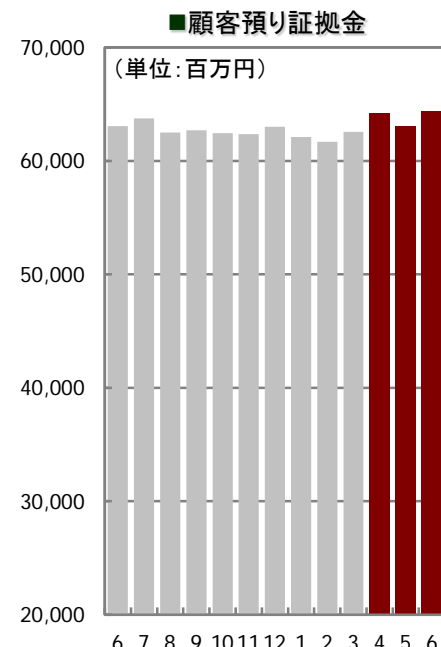
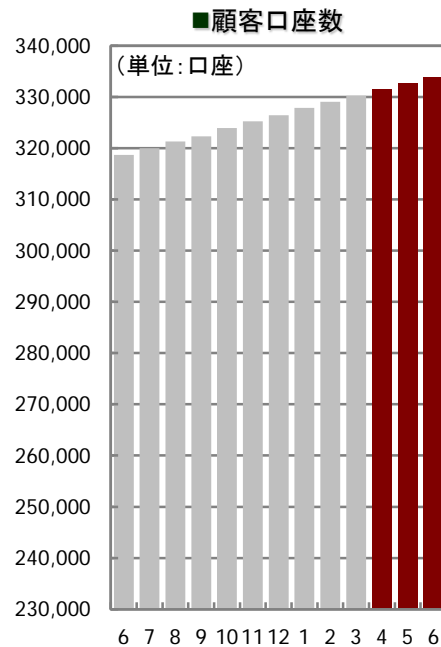
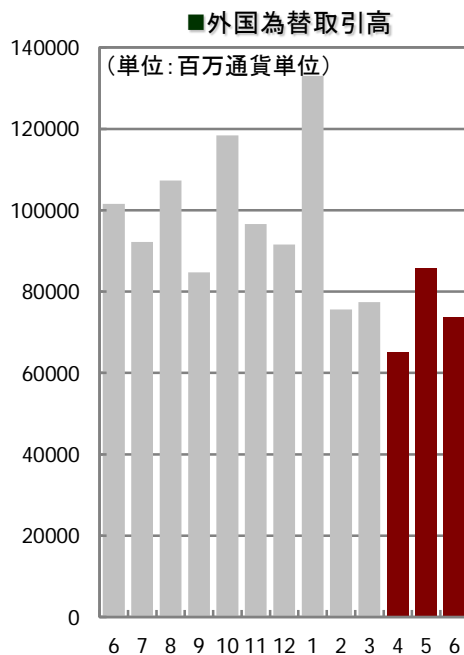
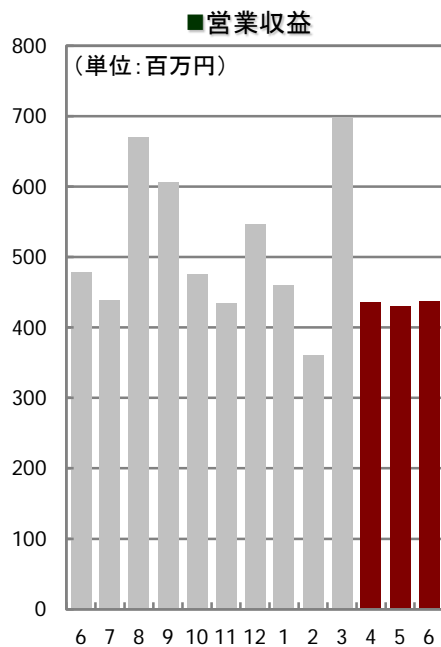
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2019/3期										2020/3期		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019/1月	2月	3月	4月	5月	6月
営業収益(百万円)	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698	436	430	438
外国為替取引高 (百万通貨単位)	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410	64,962	85,708	73,679
顧客口座数(口座)	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230	331,528	332,653	333,795
顧客預り証拠金(百万円)	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557	64,226	63,060	64,426
内、一般顧客(BtoB以外)	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205	57,695	58,098	58,594

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



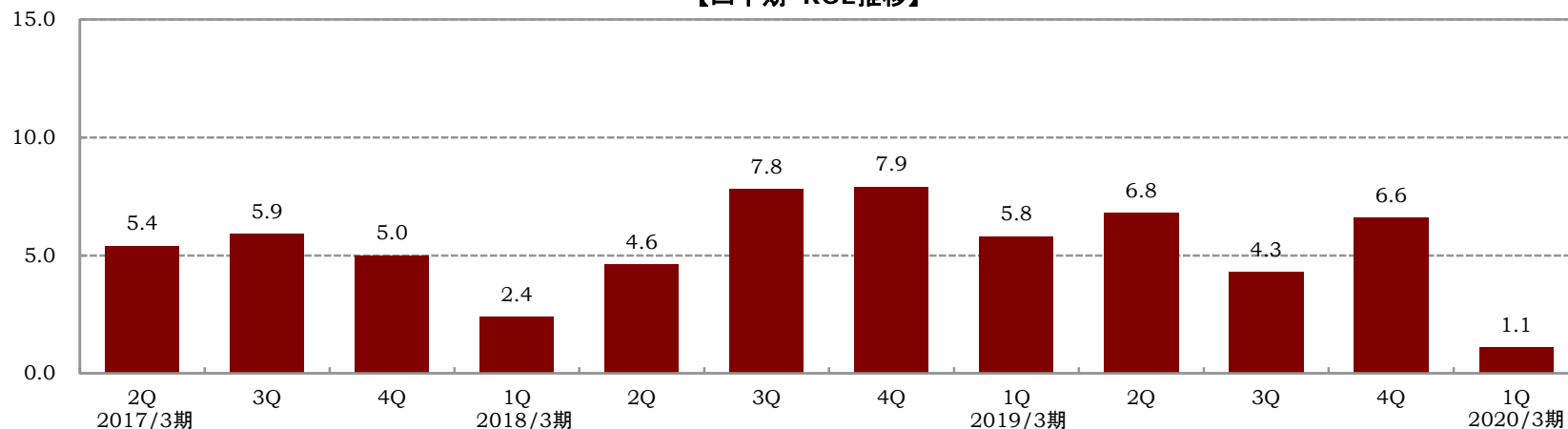


主要経営指標推移

Money Partners Group

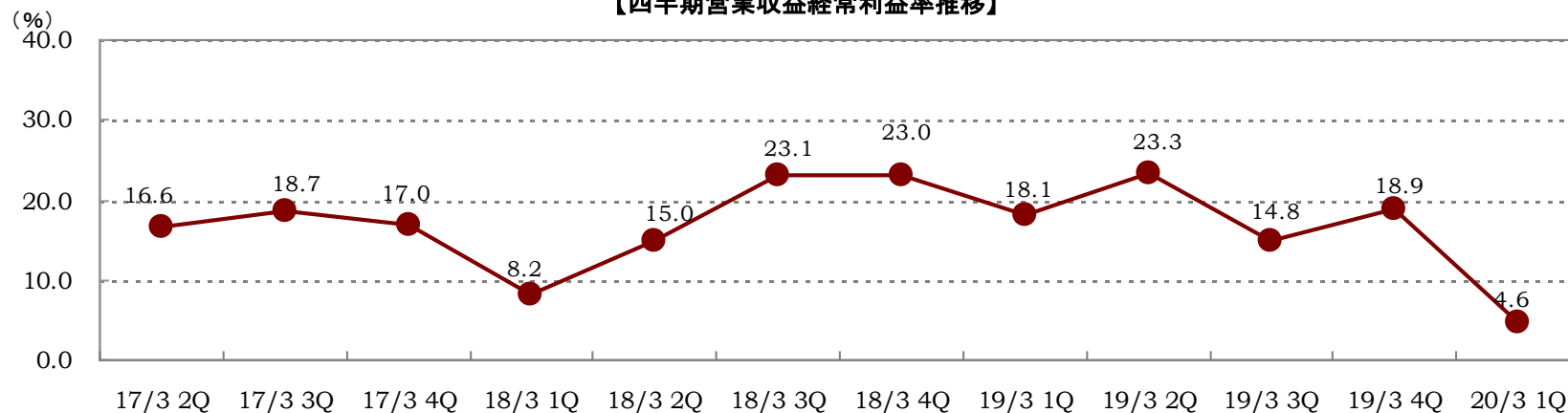
ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2020年3月期第1四半期の重点施策の進捗状況





当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

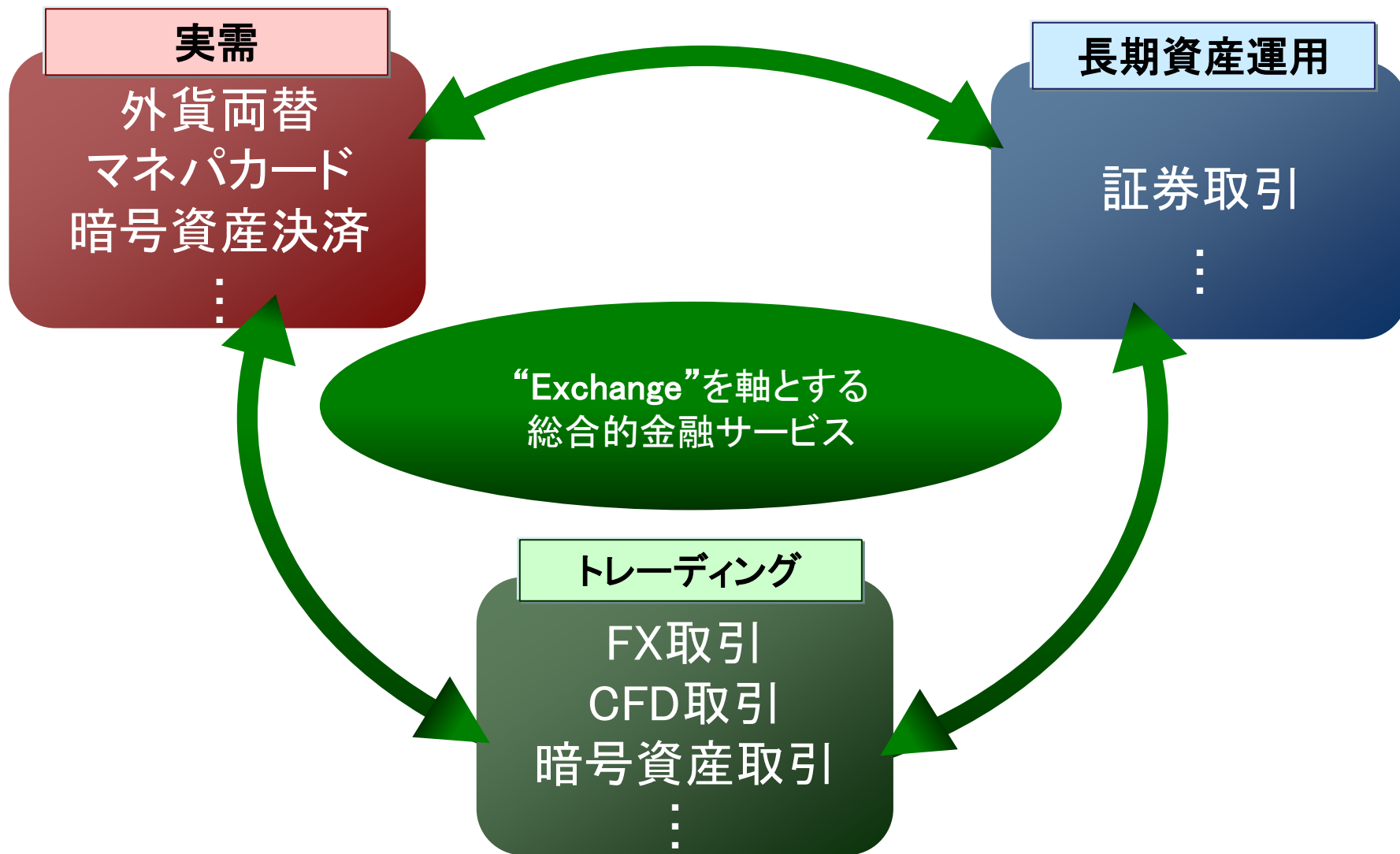
- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善





重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

暗号資産（仮想通貨）関連ビジネス

暗号資産（仮想通貨）

2019年3月25日

- ・(株)大和証券グループ本社と、ブロックチェーン技術を用いた業務及びブロックチェーン技術に係るコンサルティング業務についての提携契約締結（これと同時に、同社を割当先として転換社債型新株予約権付社債を発行し、下記新設子会社増資資金として約10億円を調達。）
- ・2019年5月を目途に仮想通貨交換業全般を取扱う子会社の設立を決定



2019年6月14日

子会社設立に代え、7/1付でコインージ(株)を子会社することを決定

<今後のスケジュール>

2019年7月

コインージ(株)増資(第1回)400百万円

2019年11月～2020年1月

コインージ(株)増資(第2回)580百万円

2020年4月を目途

仮想通貨交換業に係るサービス開始



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

暗号資産（仮想通貨）関連ビジネス

暗号資産（仮想通貨）

(株)マネーパートナーズグループ

業務提携

(株)大和証券グループ本社

連結子会社

(株)マネーパートナーズ

連結子会社

コインエージ投資(株)

連結子会社

コインエージ(株)

金融商品取引業他（現行ビジネス）

仮想通貨交換業

FX

証券

商品CFD

プリペイド
カード

ビットコイン
両替（準備中）

決済関連サービス
に特化

仮想通貨交換業

仮想通貨交換業全般

いわゆる「販売所」業
務からスタートし、
順次業務領域を拡大



重点施策の進捗状況③

Money Partners Group

外国為替相場低迷への対応

FX

外国為替相場関連情報の提供強化

マネパの豪ドル特集

特集 今から追いつく B.R.E.X.I.T. 2019

(今夜26時)から結果判明の見込み

英与党党首選 (第一回)

保守党党首選スケジュール

欧州議会選を目前に控えた英国

2019/05/28

2019/05/17

2019/05/14

2019/05/13

2019/05/11

2019/05/07

2019/05/22

2019/04/11

高金利通貨を学ぶ・投資する!

会員限定コンテンツのお知らせ

【レポート】トルコ中銀政策金利会合を前に争点を整理する

【レポート】メキシコペソの中勢見通し

【レポート】トルコリラ/円の中勢見通し

【レポート】南アフリカランド/円の中勢見通し

高金利通貨の疑問に何でも答えます!

外国為替相場の変動率低下に応じて、関心の高まる米ドル以外の各種通貨の情報も充実



重点施策の進捗状況③

Money Partners Group

マネパカードの利用拡大による採算改善

マネパカード

「おまかせチャージ」・「おまかせ両替」

おまかせチャージ

おまかせチャージ機能なら、カードの残高が少なくなるたびに
お預かりしているご資金から自動でチャージします。

おまかせ両替

おまかせ両替機能なら、チャージ済みの通貨を、
いろいろな通貨に自動で両替してくれるので、
複数の通貨を使う場合でも、都度両替なしでご利用いただけます。

面倒な操作が不要になる自動チャージ・自動両替機能

利用促進キャンペーンの実施

夏の先取り
+ キャンペーン +
条件達成で
合計100名様に豪華賞品が当たる!
「キャンペーン」
条件達成で 合計100名様に豪華賞品が当たる!
Nintendo Switchのロゴ・Nintendo Switchは任天堂の登録商標です。 ©2018 Nintendo

利便性を向上させる新機能追加や積極的キャンペーンによりカード利用を促進

Ⅲ. 今後の目指すべき方向性



IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2020年3月期第1四半期(2019年4~6月)のROEは1.1%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2020年3月期第1四半期(2019年4~6月)の営業収益経常利益率は4.6%**



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**（年2回）

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	188	223	141	219	38			
上段:3ヶ月	188	441	553	772	38			
下段:累計								
配当金の総額 (百万円)	114		146					
期末発行済 株式総数(株)	33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)					
1株当たり 配当金	中間・期末	3.5円		4.5円		未定		未定
	年間	8.0円				未定		

※ 当期は、コインージ(株)子会社化に対応し、配当性向に使用する連結当期純利益に、同社の開業までのコストを除外した数値を用いる方針
(安定配当実施の観点から、コインージ(株)子会社化に伴う減配要素を排除する趣旨)



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちのいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2020年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ